

芦屋町図書館
☎223局3677
午前10時～午後6時

※5日回、12日回、19日回、22日回、26日回、29日回～平成29年1月3日回は休館日です。

定例お話し

▷出演 図書館員、赤ちゃんおはなし会「たち」、ボランティア「おはなしトントン」、「にじの会」
▷とき 3日回・7日回・17日回・25日回の午前11時から
▷ところ 図書館1階おはなしのへや

今月のイベント

■大人の上映会

深夜に開く飯屋「深夜食堂」は、常連さんの癒しの場所です。テレビや映画でも話題のこの作品で、人情の機微に触れませんか。

▷とき 12月3日回・午後1時から
▷上映作品 深夜食堂

■クリスマスお話し

図書館ボランティアの皆さんによる、絵本やお話のプレゼントです。

▷とき 12月11日回・午後2時から

■「わたしの漢字」募集

▷募集期間 12月25日回まで（用紙は図書館カウンターで配布中）。

※参加作品は随時掲示し、平成29年1月9日回(祝)まで掲示します。

新着図書

【一般書】

梅もどき	諸田 玲子 著
恋のゴンドラ	東野 圭吾 著
クランクイン	相場 英雄 著
夜行	森見登美彦 著
校閲ガール トルネード	宮木あや子 著

【児童書】

ひかり生まれるところ	まはら三桃 作
森の石と空飛ぶ船	岡田 淳 作
オレさすらいの転校生	吉野万理子 作
じてんしゃのほねやすみ	村上しいこ 作
もみの木のねがい	イシル・ブライヤー 再話

全員野球で悲願の優勝！！

山鹿ビクトリー

11月3日、5日の二日間で、軟式少年野球16チームが参加する「第1回中遠支部選抜学童新人戦」が開催され、山鹿ビクトリーが優勝しました。

山鹿ビクトリーは、小学1年生から6年生までの男女18人からなるチームで、「最後まで諦めずに絶対勝つ!!」をモットーに、全員が一丸となって戦い、7年ぶりに念願の優勝を勝ち取ることができました。

金メダルを手にした子どもたちは、あらためて監督、コーチそして野球ができる事への感謝の気持ちを感じたようで、その顔は笑顔と自信で満ちあふれていました。

野球に興味を持つ子は、毎週火・木・土・日に山鹿小学校のグラウンドで練習をしていますので、ぜひ見学に来てください。



芦屋町ににぎわいをとらはじめたマルシェ

アシヤ de マルシェ・芦屋町出身メンバー2人

今年6月、「芦屋町を元気にしたい」という思いではじめて開催した「アシヤ de マルシェ」。マルシェらしいさまざまな出店者を探す一方、集客のために同じ子育て世代の皆さんにSNSや口コミで広めてもらったり、幼稚園などにチラシを配ってもらったりと、とにかくがむしゃらにがんばりました。

このマルシェの目的は親子で楽しめること、元気になること。功を奏して大人も子どもも楽しいマルシェとなりました。その評判が広がり、10月30日には、ボートレース芦屋で2回目のマルシェを行うことができました。これには、芦屋町地域おこし協力隊のお二人にもたくさんご協力いただき、本物の「地域おこし協力隊」なんだと実感しました。「芦屋町を元気にするぞ!」と口に出さなくても、心は皆、芦屋を愛する熱い気持ちでいっぱいでした。



多年にわたり人権擁護活動に尽くされたとして、10月17日に人権擁護委員の田中代さんが法務大臣表彰を受賞されました。田中さんは受賞の報告のため、

芦屋町人権擁護委員が法務大臣表彰を受賞
これは、昭和62年から28年間の永きにわたり、豊かな経験と手腕を遺憾なく発揮され、町政の振興に尽力された功績が認められたものです。



秋の叙勲 町政発展に寄与
中西定美さんが旭日双光章を受章

11月3日、元芦屋町町議会議員の中西定美さんが旭日双光章を受章されました。

11月7日に波多野町長を訪れ、「これからも町の人権擁護・啓発の活動を推進していきます」と力強く述べられました。



地域の皆さんに支えられ、今日も元気にがんばります

障害福祉サービス事業所みどり園
10月23日、今年で21回目となるふれあいみどり園祭りを開催することができました。これは、地域の各団体、学生ボランティアなどたくさんの方にご協力いただき、安全に開催できたこと感謝しています。
今年度のステージは中庭で行いました。利用者のものまね芸や航空自衛隊芦屋基地のTOSHIIさんによる「長瀬

剛ものまねライブ」、ボランティア腹話術師「春風河馬さん」こと、かばおじさんによる腹話術、みどり園職員のバンド演奏などで盛り上がりました。皆が楽しみにしているお楽しみ抽せん会では、今年も協賛企業やさまざまな団体より、多くの賞品を提供いただきました。ゲームコーナーでも利用者だけでなく、地元の子どもたちも楽しく遊ぶことができ、地域の皆さんとのふれあいがたくさんできました。地域社会にとけ込み、皆さんに支えられていると感じた1日となりました。



俳句、短歌

●浜木綿俳句会

ナサのロゴ砂に彫りたる秋思かな 野口加津美
星座図の砂の壁面秋気満つ 池田千恵子
サターン・ジュピター砂像の並ぶ天高し 吉住 利枝
大いなるものの影踏み秋逝かす 池田 幸利

●青嶺あしや俳句会

渡し場のありしあたりの鯉跳ぬる 桐山 美枝
酔芙蓉海の夕日を包みこむ 縄田 恵子
神の庭菊百鉢に迎へらる 仲山クニ子
木枯しのこゑあげてくる砂防林 廣橋いたる

●水荃短歌会

秋晴れのコスモスの中姉乗せて 田中勢津子
車椅子押す甥と交互に 乗り継ぎのバスと電車と妹の 待てる飯塚の駅に着きたり 榎枝 千恵
孫の乗る機影消えたる空みつめ 娘はデッキに佇みており 後藤 征子
晩秋の人のまばらなる英彦山の 石段上る姉と連れ立ち 麻生 清子